

「環境教育掲示用教材 第3号」の補助資料の活用例

児童・生徒の持続可能な社会を構築していくための資質・能力の更なる育成を図ることを目的として作成した「環境教育掲示用教材 第3号」（下の二次元コード・リンク参照）の内容を、より深めるための補助資料・活用例・ワークシートです。本補助資料は、一人1台端末を活用して、リンク先のホームページ等から情報を収集し、収集した情報を基に話し合いを行う等、児童・生徒が主体的に学習に取り組むことができます。

補助資料の活用例

食べ物をむだにしないためにわたしたちにできること



- ① **ねらい** 食品ロスの問題について考えることを通して、持続可能な社会を作ろうとする態度を育成する。
- ② **環境教育における主な内容 (ESDの構成概念)** 資源の循環（相互性）、生活様式の見直し（責任性）
※環境教育指導資料 P8、P9 参照（二次元コード・リンク参照）
- ③ **関連するSDGsの目標** 【SDGs12】 つくる責任・つかう責任（小学校・中学校共通テーマ）

④ 主な活動

○主な活動	□教師の支援 ●留意点	◆補助資料等との関連 ■関連リンク
<ul style="list-style-type: none"> ○補助資料①「食べ物がごみに一捨てられる食べ物」を読み、食品ロスの状況について感じたことを話し合う。 ○食品ロスがなぜ、問題なのかを考え、話し合う。 ○補助資料④の東京都環境局の動画や政府広報動画の動画を見て、食品ロスの問題点について理解を深める。 ○補助資料②「家庭から出る食品ロス」の写真を見て、自分の家庭の食品ロスについて振り返る。 ○補助資料③を見て、学校給食の食品ロスについて知る。 ○学校の栄養士の話聞く。 ○学校の栄養士の話聞いて感じたことを発表する。 ○補助資料⑤を基に、食品ロスを減らすために自分にできることや、社会全体で取り組むべきことについて考え、発表する。 <p>※話し合いや発表の場面では意見交換やブレゼンテーションができるソフトやアプリを活用した授業展開が考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●補助資料①の図から、食品ロスの量の多さについて、話し合わせる。 ●食品ロスの問題点として、食料の無駄、生産者への感謝の気持ちの欠如、運搬・廃棄のエネルギーの無駄、など多面的に考えさせる。 □必要に応じて、東京都環境局「米倉れいあのもったいない劇場～食品ロス～」を提示する。 ●自分の家庭での食品ロスについて振り返る。 □昨夜の夕食を想起させる等、具体的に考えさせる。（※児童の家庭環境に配慮する。） □自校の学校給食の食品ロスのデータがあれば示す。 ●栄養士から直接話を聞くことが難しい場合は、事前に聞いて伝える方法や、事前に動画撮影し、提示する方法等が考えられる。 □補助資料④の消費者庁の動画を見て、食品ロスについて、振り返る。 ●食品ロスを減らすことが持続可能な社会へつながることに気付かせ、自分にできることや社会全体で取り組むべきことについて考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆環境教育指導資料 P30～ ◆補助資料① ◆ワークシート① ◆補助資料④ ■東京都環境局「食品ロスを考えよう」 ■政府広報動画「食品ロスを減らそう」 ■東京都環境局「米倉れいあのもったいない劇場～食品ロス～」 ◆補助資料② ◆補助資料③ ◆ワークシート② ◆補助資料④ ◆補助資料⑤ ■消費者庁「めざせ、食ロストレーナー」 ◆ワークシート③

※東京都教育委員会ホームページで、本補助資料を公開しています。環境教育指導資料及び環境教育掲示用教材も公開しておりますので、併せて御活用ください。

補助資料
本資料



環境教育指導資料
教師用



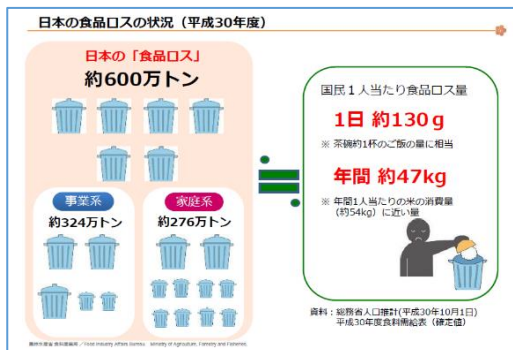
環境教育掲示用教材
児童・生徒・教師用



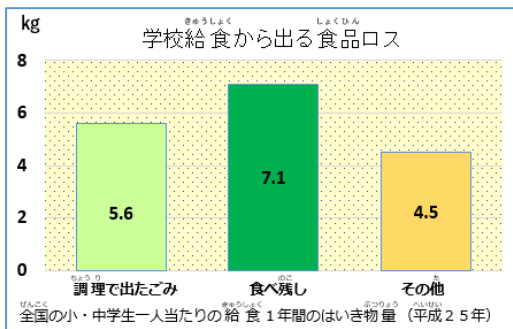
もの 食べ物をむだにしないために わたしたちにできること

年 組 名 前 _____

① ^{しょくひん}食品ロスが問題となっているのは、なぜだろう。



② ^{えいよう}栄養士の先生の話を書いて、^{かん}感じたことを書こう。



③ ^{しょくひん}食品ロスをへらすために自分でできることを考えよう。また、^{しょくひん}食品ロスをへらすために、^{ぜんたい}社会全体で取り組むべきことを考えよう。

